（様式2（1））

事業所名　グループホーム こもれび

作成日：令和　4年　12　月　26　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		インシデント・アクシデントの対応について、現状は発生時改善案を含む自己報告書作成にて各部署共有、毎月実施させる委員会での意見交換等で改善に向けて取り組みは実施されている。しかし事故はくりかえされ、減少されない。	インシデント・アクシデントに関してさらに職員の意識を高め、事故の減少に努めたい。	運営推進会議ではグラフ化してわかりやすく表示をしているが、職員間でもそれを共有できるよう掲示を行い、意識を高める。結果として前年度のと比較して事故発生数を減少させる。	12ヶ月
2		市も含め地域密着事業所が集まり意見交換を行う地域密着型事業所連絡会が確立されているが、ここ数年はコロナ感染の拡大、職員の感染等により活動ができていないのが賢首現状である	地域の事業者間での情報交換は有意義であり、令和5年度以降は適宣開催を行いたい。	どの事業所でも忙しく厳しく集まりにくい状況であると考えられる。再度地域の事業所が集合して意見交換を行うことの意義を明確にして、目的、活動内容も見直し、取り組んでいく。3～4箇月に1回程度で会合を行いたい、	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。